

就学前教育支援センター 協働研究

杉並区立就学前教育支援センター／成田西子供園(研究実践園)

令和4年度協働研究 主題

幼児理解を深めるための 保育記録を工夫し、遊びの充実を目指す

就学前教育支援センターでは、併設する成田西子供園と連携し、就学前教育の実践的研究を行っています。その成果を区内の就学前教育施設(幼稚園・子供園・保育所等)に発信し、保育者の資質向上を図り、幼児の発達に応じた質の高い教育を推進することを目的としています。



幼児理解を深めるための保育記録を工夫し、 遊びの充実を目指す

はじめに

幼児にとって遊びとは、心身の調和のとれた発達の基礎を築いていく重要な学習です。ですから、私たち保育者には、日々、遊びの課題や幼児一人ひとりの育ちを適切に捉え、どのような環境や援助が必要なのかを考えて保育をしていくことが求められます。

子どもの遊びをどのように見るか、子どもの何を、どのように理解すればよいのかについて明確にし、翌日の保育を迎えるためには、保育の過程を振り返り、保育を記録していくことが大切です。

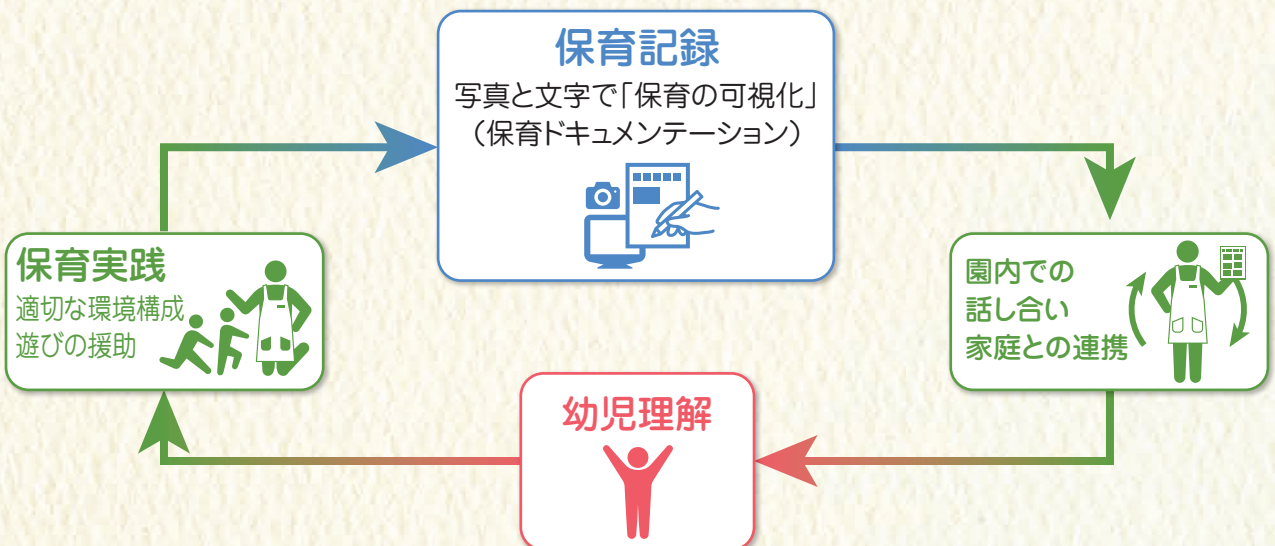
保育の記録を通して、保育者は幼児の姿や遊びの読み取りを深め、次の保育への願いや見通しをもって、適切な環境を構成することができますようになります。保育の記録を継続することで、幼児理解が深まり、保育を省察する力が身に付き、保育者の資質が向上すると考えます。

また、保育記録を保護者と共有することで、保護者は園での出来事を知るだけでなく、遊びの中で、子どもたちが発達に必要な体験を積み重ね、よりよく育っていくことを感じることができると考えます。

そこで、研究主題を「幼児理解を深めるための保育記録を工夫し、遊びの充実を目指す」とし、保育記録の内容や保育記録の活用について、成田西子供園が試行錯誤し、実践してきたことの一部を紹介します。

日々多忙な保育者にとって、限られた時間の中でどのように保育を記録に残すか、保護者、地域にどのように保育を伝えるか、課題は多くあります。その課題の解決策の一つとして、保育記録を「写真と文字の組み合わせ記録」（保育ドキュメンテーション）にすることで、「保育の可視化」に取り組みました。

写真を活用することで、その瞬間の遊びの雰囲気や場の構成が分かり、子どもの表情や視線から心情などの内面が感じられます。写真を取り入れた保育記録から、保育者同士で幼児の育ちが共有され、話し合いは深まります。子どもを話題の中心にした園と家庭、家庭と家庭の連携も図られ、保育実践の充実につながると考えます。



ご指導いただいた講師より

記録をもとに、活発な対話を

幼児教育においては、従前より子ども理解を深めるツールとして保育記録が重視されてきましたが、近年、ICT機器の進化によって保育記録の意義は広がりを見せています。つまり保育における出来事や子どもの育ちが可視化されるようになり、それを共有したもの同士の間に対話が生まれるようになったのです。

成田西子供園の実践研究を土俵にして、保育記録をめぐる様々な対話が生まれることを期待しています。



聖心女子大学 現代教養学部 教育学科 教授 河邊 貴子

1 「写真と文字の組み合わせ記録」から保育の充実へ

文字だけの記録から、写真を中心にした保護者向けのエピソード記録と、その記録を活用した保育の振り返り記録に取り組みました。

保護者向けのエピソード記録

たすけてー！ 奇跡の脱輪事件
4月22日（金） 3歳児 らっこ組

園庭で、それぞれ自分の車を持って走らせて遊びました。子どもたちは、でこぼこ道や丸太の上、花壇の淵などいろいろな場所を走らせて楽しみました。逆さまに置いたコンテナの上を走らせていると、コンテナの底の穴にタイヤがすっぴりはまってしまいました・・・。

たすけてー！ 動かないよー

いま行くねー おしてあげる！

よいしょ、よいしょ！

しゅっぱーつ！

偶然の脱輪事件で、「たすけてー」と周りの子を呼ぶ姿、それに気付いて動く姿、動く車で押すイメージをもって助けようとする姿が見られました。周りの子どもの小さなつながりが生まれた奇跡の場面でした！

エピソード記録をもとにした 保育者の保育の振り返り記録

■ 保育の振り返り(写真場面)

- 車がお気に入りの子どもたち。いろいろ走り方を試している。同じ場にはいるが、言葉や動きで関わる様子はない。コンテナ置き場で、偶然、A児の車が穴にはまってしまった。A児が発した言葉に他の幼児が応じたことをきっかけに、子ども同士が言葉を交わし動き始める。これまでも互いの存在は感じ合っていたが、穴にはまった事件が互いに関わるきっかけになったのかも。まさに奇跡。
- 助けたり力を合わせたりするってこういう感じ、ということが共有された。
- 一緒に遊んでいる雰囲気や一緒に動いている楽しさを感じているようだ。おしゃべりも活発になった。

■ NEXT

- 一緒に遊ぶことを楽しんでほしいので、車は使いたい子どもの数より多めに。道路などに見立てられ、自分で運べるものも用意しておきたい。
- 分かりやすいイメージで一緒に動くうれしさや楽しさを感じられるようにしたい。

■ 保育全体の省察

- 子どもたちは園庭や保育室で自分の好きな遊びを見つけて遊び始めている。親しみのある遊具や絵本などは同じものを複数用意しておき、「自分も使いたい」という思いに応じられるようにしたい。
- 片付けは幼児によって時差があるので、〇〇先生と連携し、片付け後の学級の活動に一人ひとりが安心して移れるようにしよう。

担任の気付き

同じ場所で一緒に遊んでいるように見えるが、それぞれが思い思いに車を動かして、ほとんど関わりはないと読み取っていた。そんなとき、偶然タイヤが穴にはまるアクシデントが起こり、A児の「助けて」という言葉に応じる他の幼児の姿があり、思わず写真を撮った。初めは同じ場にいるだけだった幼児が言葉を交わし、関わりが生まれてくるきっかけの瞬間を捉えることができた。人との関わりに着目して保育記録を継続していたので、子ども同士の関わりの変化に気付くことができたと感じた。

「写真と文字の組み合わせ記録」を通した遊びの振り返りは大切

● 保育者にとって写真を保育記録に取り入れることのよさ

- ・保育者が活動の場面の写真を撮ることを継続することで、遊びを観察する視点が身に付きます。
- ・遊びの一連の経過の写真を撮ることで、活動の流れや幼児の変容を把握することができます。
- ・写真があることで保育者の思い込みが減り、客観的に保育を振り返ることができます。

● 写真を活用するときの留意点

- ・写真という可視化されたものが、そのまま「保育の可視化」につながるとは限りません。幼児の内面の変化(心情や欲求、目的)を読み取ろうとすることが、保育の可視化や保育者の資質向上につながります。
- ・個人情報に関する適切な配慮が必要です。また、本人にとって望ましくない一瞬を捉えた写真になっていないか、保育記録に残す写真の選択には配慮が必要です。

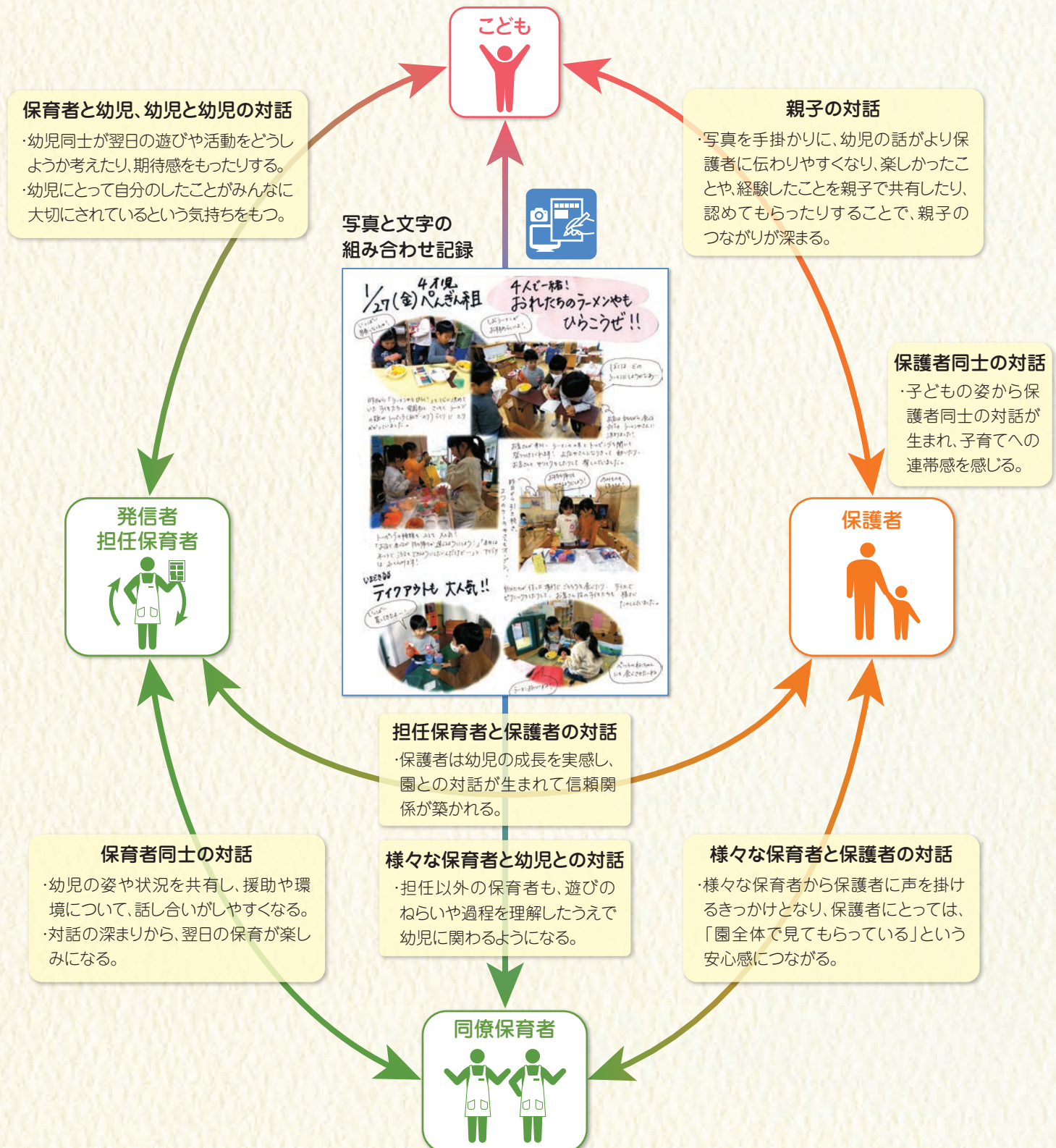
● 「写真と文字の組み合わせ記録」に取り組んだ結果

- ・幼児理解に基づいた評価を軸にして、保育を振り返る力が付いてきました。
- ・振り返りから子どもの内面の理解や保育者自身の言動を掘り下げて考え、課題や改善策を見出すことができました。

2 「写真と文字の組み合わせ記録」の多様な活用から 保護者、地域との子どもの育ちの共有へ

幼児教育には教科書がなく、「見えない教育」と言われることもあります。遊びの中で幼児が体験し、学んでいることを保育者が把握し、それらを可視化して家庭や地域にお便りや掲示物、ホームページなどで伝え、子どもの育ちを共有していくことは大切です。「写真と文字の組み合わせ記録」を多様な対話や交流に生かしていくことはできないか、試行錯誤をしていきました。

「写真と文字の組み合わせ記録」 から深まる対話とつながり





保育者にとって

担任が保育記録を作成するだけでは、保育の構想について自己完結しがちです。保育の充実のためには短時間でも保育者同士で話し合う機会を大切にしたいものです。「写真と文字の組み合わせ記録」は保育者同士の話し合いの材料になり、保育の計画や構想を立てるために活用されます。子どもの姿や遊びの状況を保育者同士が共有し、援助や環境についての話し合いがしやすくなり、子どもが何を学ぼうとしているのかを同僚とともに探求し、それを土台に保育を考えていきます。

保育を高め合う! 15分ミーティング

エピソード記録をもとに 保育者の保育の振り返り記録

■ 保育の振り返り(写真場面)

ラーメン屋ごっこ／4人のうち3人はラーメン作りに前向き。材料コーナーの中からイメージに合うものを選んで作る。ネギ、麺に見立てて紙を切り刻んで器に入れている。切り刻まれた紙片をラーメンとして盛り付けていたが、紙片が混ざり、ラーメンらしく見えないかもしれない。繰り返し器に盛り付けて、客とのやり取りを楽しむためには、扱いにくい素材だった。A児はお客を呼んでいた。声がよく出るのはいいことだが、作っている3人を待つばかりだったので「一緒に作ってみよう」と声を掛けてしまった。

■ NEXT

- 素材を準備
⇒繰り返し使えて、それらしく見えるもの。上質紙、画用紙、色紙、紙ひもを材料コーナーに置いておこう。保護者にも発信して、ひもや紙パッキンを集めてみよう。
- 客とのやり取りができる場が必要⇒保育室の隣の空間も活用しよう。
- 4人のラーメン屋に他児が気付けるように⇒お店の看板作りにも気付かせていこう。

■ 保育全体の省察

- おうちごっこの幼児は「おうちから買い物に出かける⇄戻って食べる」の繰り返しの中で、友達との関わりが少しずつ広がっている。いい雰囲気。
- 転がしドッジボール／B児は転がせていたかどうかで、友達に言われたことが悔しくて泣く。とても怒っていたけれど、誰かに当たることはなく自分がかみしめて泣きながらも次の行動に移ることができた。

担任の気付き おうちごっこは場の中でメンバーが役割や状況設定を意味付けて楽しむが、お店ごっこはメンバー以外の人が客として関わることで、役割やものの扱いや動きが意味付けられて面白くなる。ごっこ遊びを理解して、空間のレイアウトと全体の整理をしていくことが必要だということを、保育記録をもとに他の保育者と話し合うことで気付くことができた。

- 担任** 4人のうち3人は遊びに必要なものを作り、1人はお客さんと呼んでいたのが気になった。
- 机の3人は、一緒に作りながらやりたいことがはっきりしてきて、集中して取り組んでいる。
- 担任** 机とお店の場が離れていたためA児には3人のやりたいことが共有されていなかったかも。



子ども同士がつながり、遊びの目標を共有できるように、遊びの拠点となる場や空間を見直す必要がありそう。

担任 A児に「作ろう」と声を掛けたが、今何をしているか、次に何をしたいか、4人が互いに分かって遊べる環境の再構成が必要だった。

「写真と文字の組み合わせ記録」の活用効果

- 活動場面の写真があることで、環境の構成、幼児の表情や遊びの状況、雰囲気が分かり、写真を撮影したときの保育者の思いも伝わります。保育者同士で遊びの状況が共有され、それを踏まえて次の手立てや改善点について、話しやすくなり、短時間でも効率よく、遊びを通した学びについての理解や保育を構想する話し合いができます。
- 担任以外の保育者も、遊びのねらいや活動の過程を理解したうえで、翌日からの保育で子どもに関わるようになり、幼児は担任以外の保育者からも自分が大切にされている、という気持ちをもつようになります。



子どもにとって

「写真と文字の組み合わせ記録」から、保育者と対話しながら子ども自身も遊びを振り返ることができます。子どもは振り返りから新たな目的を見出したり、記録を手掛かりにしたりして遊びを進めていくことがあります。友達の遊びを知り、自分の遊びに取り入れようとすることもあります。

担任の
気付き

私が撮った写真を見返してみると、遊びや活動の流れが分かるものが多いことに気付いた。それも大切だが、子どもが夢中になっているときの表情や視線、葛藤やうれしさなどの人との関わりの中で経験している気持ちに寄り添うことも意識して、子どもたちを見ていきたいと感じた。

学級での話し合い

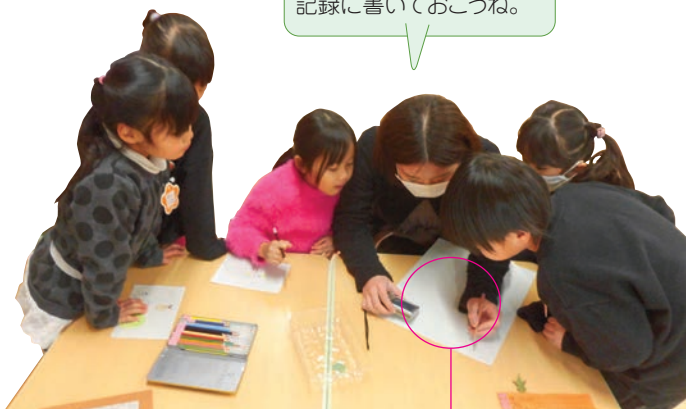
遊びを紹介し合うときに、保育者が作成した保育記録を提示して話すこともあります。

担任 今日こんな遊びがありました。その中からドッジボールの話を聞かせてもらいましょう。

面白そう。
やってみよう



担任 みんなで決めたドッジボールのルールを今日の記録に書いておこうね。



5月 いるの組
『ドッジボール』って知ってる!! 10/19



ドッジボール デビュー!
新しくドッジボールが始まりました。前の130組と違って、「前の130組と違って!!」とすごく楽しそうに遊んでいる中、遊びに慣れていない子からルールを知りたい様子、自分たちで遊び方を決める様子。



昨日からドッジボールが始まりました。楽しんでいます。

投げた、楽しい! → みんなでドッジボール!! 10/21

ボールで遊ぼう!



「投げた」楽しかった。みんなドッジボールのルールを聞いて、いっしょにルールを決めてもらいました。



いざ! しょうせ!!
初のドッジボール大会が、大盛り上がりで進んでいきました。

アウト? セーフ?
こんな時、どうする? 10/25

ドッジボール

今日ドッジボールをしました。2回ずつ勝負あり! ね、投げた瞬間は「セーフ?」って思ってた。



グーヒーローでのチーム決め
遊びの中はグーヒーローのチーム決め。全員がやっかいなグーヒーロー、1人1人に決めました。



ボールが来た瞬間に、手早く動くぞ!!

- ・バウンドした時はセーフ
 - ・ラケットを落とすと負け
 - ・ボールが体に当たると負け
- 子どもたちの中で「遊びのルール」を話し合っていて、みんなが納得していました。

「写真と文字の組み合わせ記録」の活用効果

- 遊びの様子や友達のしていること、自分のしていることを客観的に見ることができて理解しやすくなり、「分かった」「やってみよう」という気持ちになります。
- 自分の遊びを紹介されるうれしさがあり、保護者に「伝えたい」「分かってほしい」気持ちが高まります。
- 言葉だけではうまく伝えられない幼児の思いや考えも、保育記録があることで保護者に伝わるようになります。



保護者にとって

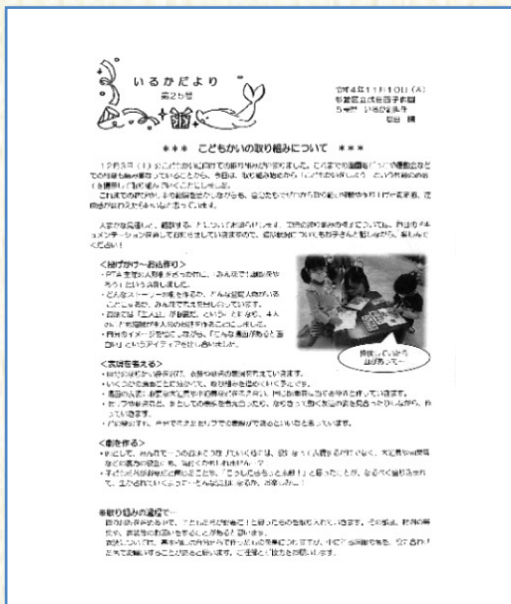
「写真と文字の組み合わせ記録」は日々の保育者と保護者とのコミュニケーションや、園の保育への理解のための一つの手段になります。写真に加えて、子どもの気持ちや子どもの成長を端的な言葉で表現することで、保護者は保育記録に関心をもつようになります。

担任以外の保育者も、保育記録を媒体にして子どもを中心にした話題で保護者と関わることができ、園の職員みんなが子どもを見ていることが伝わります。

子どもの体験や園での出来事が保護者に伝わりやすくなることで、親子の対話が弾み、子どもの楽しかったことや成長したことを共有できるようになります。

学級通信との併用

保育記録は端的な表現になるので、伝えきれない子どもの育ちや教育的な配慮は、学級通信で伝えるようにする。



園でやったことが
すぐに分かって
いいですね。

遊びの中で、友達ともめたらしいけど、こうやって自分たちで解決していったのですね。



園での子どもの活動が共有され、園庭開放でも親子で楽しむ姿へ

直接、担任の先生と話せないときでも、園での様子が分かって安心です。



「写真と文字の組み合わせ記録」の活用効果

- 園での幼児の姿や、取組の過程が伝わりやすくなり、子どもを中心にした保育者と保護者、保護者同士の対話が活発になります。
- 子どもがどのようなことを考え、友達と関わって取り組んでいるのが理解しやすくなります。
- 園での子どもの興味や意欲が家庭でも継続し、さらに家庭での経験を翌日の遊びにいかそうとする姿にもつながります。
- 園庭開放などで、親子で一緒に遊ぶ姿が増えます。

「写真と文字の組み合わせ記録」の工夫で記録作成効率アップへ

写真を保育記録に取り入れることで、保育者同士や保護者との対話が進み、保育が充実するのではないが、記録作成時間の短縮につながるのではないかと取り組んだ保育記録の一例です。記録を工夫するうえで気付いたポイントは次のとおりです。

タイトル

- ・「子どもが経験していること」「育っていること」「子どもの思い」を印象的な言葉で簡潔に表す。

保育の振り返り(写真場面)

- ・子どもの興味や実現しようとしていること、子どもにとってどんな経験になったかなどの幼児理解を保育者の気持ちを込めて書く。「こう思ったけど違った」「子どもの思いとずれた」という気付きも大切。
- ・保育の振り返りから気付いた次への願い。

NEXT

- ・環境の構成や援助など次の保育への見通し。

写真

- ・遊びが変化し子どもがのめり込んでいく過程を複数枚の写真で捉える。
- ・子どもの表情や視線に着目し、内面の変化を捉える。

説明

- ・この写真を選んだ理由や状況。
- ・どんな育ちが見られたか。
- ・次はどうかという保育の方向性。

NEXT

- ・一緒に遊ぶことを楽しんでほしいので、車は使いたい子どもの数より多めに、道路などに見立てられ、自分で運べるものを用意しておきたい。
- ・分かりやすいイメージで一緒に動くうれしさを感じられるようにしたい。

保育全体の省察

- ・写真のエピソード以外のこの日の遊びや生活の振り返りや次の保育への心づもりや見通し。
- ・1日の生活の流れや組み立ての省察も。

保育記録は遊びの充実のために大切

- 保育者が保育記録を継続することで専門性を向上させることができます。
- 保育記録から幼児の経験していることや育ちが捉えられ、次の保育を考えていく材料となります。
- 保育者が保育記録を積み重ねていくことは、自分自身の保育の振り返りだけでなく、同僚保育者と対話し、子どものことや保育のことを考え合うときに、重要なものとなります。
- 写真を活用すると状況説明の文章を省略できるので、保育記録作成時間を短縮できます。
- 時間がたってから読み返しても、写真があるとそのときの状況が分かり、子どもの成長や変容が捉えやすくなります。

おわりに

成田西子供園では「写真と文字の組み合わせ記録は15分で!」を目標に、毎日作成しています。写真を活用することで、保育者は視点をもって遊びを見る、保育記録を作る、ということが習慣になり、毎日の保育記録を週の指導計画作成や園内研修でも活用しています。保育記録の工夫から幼児理解が深まり、保育者の資質向上が図られます。

令和4年度の協働研究のまとめとして、成田西子供園で取り組んだ保育記録の一例を紹介しました。保育記録にはいろいろな方法が考えられます。就学前教育施設での保育記録の取組や工夫の一助となることを願っています。

研究に携わった教職員

- ・ 園長：齋藤 由美
- ・ 副園長：大塚 玲華
- ・ 幼稚園教諭：松田 陽 渡辺 帆南 野田 佑佳 米田 知子 根本 葵